●発行／豊岡市　●編集／政策調整部秘書広報課
市長室☎079-23-1111 FAX24-1004　FAX23-1124
〒668-8666 兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL http://www.city.toyooka.lg.jp
（支所）・竹野☎47-1111・日高☎42-1111・城崎☎32-0001・出石☎52-3111・但東☎54-1000

豊岡偉人伝 13

私たちの暮らしの発展に尽くし、近代日本の礎を築いた人、スポーツ・芸術の普及発展に心血を注いだ人など、豊岡にはさまざまな先人たちの心が息づいています。
その先人たちに学び、志を引き継ぎましょう。

《問合せ》文化振興課☎23-1160

素材との対話から生まれる造形をつきつめた画家　杢田たけを

杢田たけを

（1910～1987）
城南町出身　画家

1910年　豊岡市城南町に生まれる
1927年　18歳　日本美術学院の小泉勝爾氏に日本画を学ぶ
1935年　25歳　第５回独立展初入選
1947年　37歳　第15回独立展独立賞受賞
1954年　44歳　第１回現代日本美術展出品
1955年　45歳　一家をあげて東京に移住
1960年　50歳　日本美術展（サクラメント・クロッカー美術館）出品
1967年　57歳　現代日本作家展（サンフランシスコ・ロシクルーシャン美術館）出品
1974年　64歳　現代日本美術選抜展出品
1983年　73歳　画業50年記念・自選展（豊岡市民会館）　各地で個展を多く開催
1987年　77歳　逝去

豊岡時代…抒情的な油彩画

▲「鉄屑のある風景」

1910年（明治43）城崎郡豊岡町京町（現・豊岡市城南町）に生まれ、中学校を卒業後、家業の農機具製造を手伝いながら日本画家の祖父の影響で日本画を始めます。18歳で日本画家小泉勝爾に師事しましたが洋画に転向し、1935年の第5回独立展で初入選しました。入選作品の「鉄屑のある風景」は写実的な風景画の一部に実物の鉄片などをコラージュ（※）したもので、その後の杢田芸術を暗示しています。

▲「牛市」

のちに洋画家の須田国太郎に師事し、以後独立会の常連となり、1947年第15回独立展で独立賞を受賞しました。受賞作品の「牛市」は、当時円山川では、たくさんの牛が飼われていて、豊岡の畜産市場で手塩にかけた牛に家族が別れを惜しむ情景を描いたものです。1949年には独立美術協会会員に推挙されました。

※コラージュ［糊付けの意］新聞・布片・針金など絵の具以外のものをさまざまに組み合わせて画面に貼り付け、特殊な効果を出す現代絵画の一技法

制作の大転換から晩年へ

父との約束を守り絵画と家業を両立し、父母の死を見届け、1955年、一家で東京に出ます。

1965年以後、木材を用いた有機的な造形に取り組み、前衛的な作品に移行しました。

杢田たけをは亡くなる前、病床で「これからというときに死ぬのは悔しい」と語ったといいます。晩年になるに従い、作品の存在感が強まり、衰えを感じさせなかったのは、ひたすらに自己の成就を目指していたからではないでしょうか。

▲「遍照86－白と黒Ａ」

豊岡市ゆかりの芸術家作品展2013

今回紹介した杢田たけををはじめ、豊岡市出身の画家たちの作品を一堂に集めた「豊岡市ゆかりの芸術家作品展2013」が開催されます。

会期　６月１日（土）～７月７日（日）
会場　伊藤清永美術館
開館時間　午前９時30分～午後５時（入館は午後４時30分まで、水曜日休館）
入観料　一般　300円、65歳以上・身体障害者・大学生・高校生　150円、小中学生以下　無料

※掲載作品の中には著作権者が不明なものがあります。

VEGETABLE OIL INK　「広報とよおか」は、環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。